

# 富良野へ帰ってこないか？

市外へ進学・就職した人の10人に1人は、再び富良野へ戻り就職・転職をしています。  
 地元を遠く離れて初めて富良野の良さを実感したという声を多く聞く一方、  
 市外に住んでいると富良野の求人情報が手に入りにくいという状況もあります。  
 「Uターン就職応援特別号」では市内企業34社の求人情報を紹介。  
 あなたの知識や経験を地元・富良野で活かしませんか？

札幌へ進学・就職した後、11年ぶりに富良野へ戻り「グラス・フォレストin 富良野」に転職した堀江真吾さんにインタビューし、  
 仕事のこと、生活のこと、そして、富良野で思い描く夢を語っていただきました。

## 豊かな心を育むまちづくりを夢みて

### 未経験の仕事にチャレンジ

考古学の勉強のため富良野を離れていた堀江さんは、新潟県にある遺跡の発掘調査を終え、平成29年春、11年ぶりに故郷へ戻ってきました。「遺跡調査はやりがいを感じる仕事で、実は大学の恩師から次の仕事も誘われていました。でも、全国各地を転々とするより、大好きな富良野で暮らし、働きながらこのまちに貢献できることはないか考えたい」と帰郷を決めました。



「今あることに感謝する」ことが、堀江さんの信条。富良野神社へよく足を運ぶのだとか。

就職したグラス・フォレストin富良野は、ガラスアートや実用的なガラスの商品を展示・販売するショップ。郵便配達のアパートでこの店に立ち寄った際、ガラス製品の美しさに魅了され、すぐ応募しました。今までと異なる業務ですが、「発掘調査でガラスの遺物を扱った経験がありましたし、商品一つ一つを美しく見せるディスプレイを考えるのが楽しそうだったんです。大学でさまざまな地域の文化や特産品を学んだので、接客ではお客様の地元の話で盛り上がることもあります」。未経験の仕事ながら、これまでの経験が役立っています。

### 将来は生涯学習で富良野に貢献

まちを離れた11年の間に、富良野は観光地化が進み、近代化したことでより暮らしやすくなったと堀江さんは話します。駅前のアーケードが撤去されるなど、再開発でまちの風景が変わっていくことに少し寂しさを感じつつも、「昔から富良野の良いところは地域住民の輪が強く、市民が主体となり、協力し合ってまちづくりを進めているところ」と、



優しいスタッフに支えられながら、5号館の責任者として誠実に仕事に取り組む堀江さん。店全体を見て働ける人をめざしています。

市が掲げる市民協働の精神を大切に、発展していくまちに誇りを持っています。

今は一人前のスタッフをめざし、仕事に打ち込んでいる堀江さんですが、将来は博物館学、考古学を学んだ自身の経験を活かし、生涯学習活動がしたいという夢を持っています。生涯学習とは、学校教育はもちろん、スポーツ、文化・ボランティア活動、趣味などを通し、一人ひとりの人生を豊かにする学びのこと。「20世紀は物質、21世紀は心の豊かさが求められる時代といわれています。札幌では取り組みが始まっていて、私も大学生の時に生涯学習の講座運営を手伝っていました。今はまだ構想段階ですが、いずれは富良野市民の心を豊かにする文化的なまちにしたいです」と、活気あるまちづくりに意欲を見せてくれました。



グラス・フォレストin富良野(株式会社アートクリエイト)

### PROFILE

堀江 真吾さん (31歳)

富良野高等学校時代、科学部に所属。全国大会で青森県三内丸山遺跡を訪れたのを機に著名な考古学者がいる札幌大学へ進学。札幌三信倉庫(株)に勤めた後、新潟県の遺跡発掘調査に携わり、平成29年6月から現職で販売員として働いています。

富良野市のしごと情報サイト

富良野で見つける **Furano Job Style** 拡大中!

自分らしい毎日

フラーノ・ジョブ・スタイル



新卒特集

Uターン ふらの出身者 採用企業特集

まだまだ働き盛り シニア世代

時間を有効活用したい 子育てママ